

千葉工業大学について

千葉工業大学は、「世界文化に技術で貢献する」を建学の精神として掲げています。工学部 6 学科, 創造工学部 3 学科, 先進工学部 3 学科, 情報科学部 2 学科, 社会システム科学部 3 学科とそれぞれの学部に対応した大学院が設置されています。また、「未来ロボット技術研究センター(fuRo)」や「惑星探査研究センター(PERC)」などの様々な研究所や「パナソニック・千葉工業大学 産学連携センター」などの研究施設があります。千葉工業大学は 1942 年、東京府南多摩郡町田町本町田（現、東京都町田市本町田）に設立されました。その後 1946 年に、千葉県君津郡君津町（現、君津市）へと移転した際に「千葉工業大学」と改称されています。

千葉工業大学の強みは学生へのキャリアサポートが充実している点やものづくり環境が整っており学生の部品の加工などを行う際に十分にサポートを受けることができる点です。そして現在、日本に現存する最古の私立工業大学として確固たる地位を築いています。



千葉工業大学の校章は本学の創立直後の昭和 17 年、公募によって制定されました。

平成 4 年の創立 50 周年に伴い、工業デザイン学科（現：デザイン科学科）教員が細部を計測してバランスが整えられ、商標登録されました。

スクールカラーは「紫紺」です。

津田沼キャンパス

「興亜工業大学」があった東京府南多摩郡町田町本町田（現、東京都町田市本町田）から 2 回の移転を経て今の習志野市津田沼に建設されました。最寄りの津田沼駅からは徒歩 1 分というアクセスの良さとキャンパス内の木々の緑に溢れた景観の良さが特徴です。

この場所は旧陸軍鉄道第二連隊の兵営・演習場跡地であり、終戦とともに解体されたが兵営入り口に設けられた表門は今の津田沼キャンパスの通用門として利用され、現存しています。

通用門は“国土の歴史的景観に寄与している”として、1998 年に国の登録有形文化財に指定されました。市民からも「工大の赤煉瓦（れんが）門」と呼ばれ、親しまれています。



新習志野キャンパス

千葉県習志野市，新習志野駅近くに位置する新習志野キャンパスでは主に 1・2 年生が工学に必要な基礎知識を身につけるべく通っています。新習志野キャンパスは 1986 年に設立されました。この土地はいわゆる埋立地であり昭和 30 年に首都圏の人口増加に対応するため工業団地とともに，公共公益施設を備えたまちづくりが計画されました。特に今の幕張あたりでは業務研究・文教・住宅用地を配置した国家業務都市「幕張新都心」が誕生し，新習志野キャンパスはそこに隣接するような形で存在しています。今では津田沼キャンパスにはないグラウンドやテニスコートといった学生が思う存分体を動かせる場所があり，“環境と人にやさしい”キャンパスをめざしており，緑化だけでなく，学生がくつろげる場などが設けられています。



キャンパス内には学生寮もあります。男子寮の桑籬寮，女子寮の椿寮があり，男女合わせて約 600 名の生徒が共同生活しています。実質登校時間 0 分！

チバニー

千葉工業大学の公式キャラクターである「チバニー」は 2013 年にイラストレーター/絵本作家の坂崎千春さんによって生まれました。学科ごとに様々な色のチバニーが発見されており，学生食堂のランチを食べているところをよく目撃されており，餅つきも得意で家元級の腕前との噂も，津田沼祭のときのキャンパス内や，入学式・卒業式のときに幕張メッセでよく見かけることがあります。

なんて呼ばれているの？

チバニー

性別はあるの？

オトコでもオンナでもない！

特技はなにかあるの？

昼寝と
ピョンピョ〜ンステップ

どんな性格なの？

ニヒルで無口だけど
好奇心はヒト！？一倍



工学部 機械工学科

機械工学科は、社会の変化とニーズに積極的かつ柔軟に対応し、機械工学に関する幅広い知識と技術の習得に加え、幅広い視野と的確な判断力、豊かな創造性を有し、かつ社会性と倫理観を備えた人材を養成するため、2015年4月に設立された学科です。前身は、1944年に開設の旧制機械工学科で、2003年に機械サイエンス学科（機械工学コースおよび機械設計・開発コース（JABEE））となり技術立国としての日本を支え多数の技術者や研究者を輩出してきました。これらの旧学科、旧コースの流れを汲む機械工学科は、千葉工業大学とともに歩んできた最も歴史のある教育組織といえます。

各研究室の主な研究テーマ

熱海武憲 教授：制御工学・メカトロニクス

「ハードディスクドライブ（HDD）制御技術や高性能ドローンに関する研究」

緒方隆志 教授：材料力学・材料強度学

「耐熱金属材料のクリープ損傷メカニズムの解明やボイラ溶接部の寿命評価法に関する研究」

鈴木浩治 教授：材料力学・複合材料工学

「新たなサンドイッチ型FRP軽構造様式の検討やCFRP積層材損傷同定に関する研究」

高橋芳弘 教授：機械力学・制御

「振動発電など環境発電、車いすなどの福祉機器、鉄道の車輪とレールの接触に関する研究」

瀧野日出雄 教授：加工学・生産工学

「光学素子のイオンビーム加工や精密切削などの精密加工技術に関する研究」

仁志和彦 教授：流体工学、化学機械工学

「流脈面に基づく液体混合メカニズムや非対称ミキシングによる高度攪拌混合に関する研究」

大関浩 准教授：転がり機械要素・工作機械

「工作機械摺動面のグリース潤滑や直動転がり案内の潤滑機構に関する研究」

加藤琢真 准教授：流体力学・流体工学

「オートマチック・トランスミッション内の流動解析や物体と流れの干渉による流体騒音に関する研究」

亀谷雄樹 准教授：熱工学・エネルギー変換工学

「光エネルギーにより駆動される輸送現象やエネルギー/物質の輸送・変換の高度化に関する研究」

中代重幸 准教授：機械力学・制御

「鉄道車両のアクティブサスペンションや反発型磁気浮上装置の振動制御に関する研究」

原祥太郎 准教授：材料力学・計算材料科学

「固体酸化物形燃料電池の電極構造設計や固体材料の機械的特性のマルチスケール設計」

植草昌彦 助教：機械力学、福祉工学

「車椅子の蛇行動に関する研究や圧縮軸荷重を有する棒の固有振動に関する研究」

丸山広樹 助教：機械要素・トライボロジー・機械設計

「高機能プラスチック機械要素の開発に関する研究やセラミック転がり軸受の性能評価に関する研究」

三浦正義 助教：熱流体工学

「自励振動ヒートパイプの熱輸送機構解明に関する研究や熱輸送デバイスの性能向上に関する研究」

日本機械学会 関東学生会

第 61 回学生員卒業研究発表講演会

【開催日】 2022 年 3 月 14 日（月）

【会 場】 Web 開催

【主 催】 （一社）日本機械学会 関東学生会

【プログラム】 詳細は以下をご参照下さい。

<https://www.jsme.or.jp/kt/sotsuken/61stGakusei.html>

研究発表：9.00～15.00

【参加登録料】 登壇者：2,000 円（不課税）（ダウンロード版予稿集を含む）

聴講者：無料（ダウンロード版予稿集の提供なし）

なお、登壇者に限り、併催の関東支部第 28 期講演会の聴講は無料となります。

【予稿集・講演論文集】

○予稿集の発行について

予稿集は、Web 上での配布となります（冊子や USB、CD-ROM での配布は行われませんのでご注意ください）。予稿集の販売は行われません。

○講演論文集の発行について

講演論文集には、当日未発表の原稿、1 ページ原稿、掲載を希望しない原稿は含まれませんのでご注意ください。なお、講演論文集 CD-ROM 版を数量限定でご希望の方に販売致します。（後日販売となります。当日の販売はございませんのでご注意ください。）講演論文集には、関東支部第 28 期総会・講演会の内容も含まれます。価格は、会員 3,000 円、会員外 5,000 円（いずれも税、送料込）です。希望される方は下記問合せ先へお申込み下さい。

【参加登録について（事前登録のみとなります）】

下記 URL 内「お申込みはこちらから」より 2 月 28 日（月）迄には参加登録のお手続きをお願いします。<https://kitos-001.jp/jsmekbs61/Entry/RegTop.aspx>

【問合せ先】 日本機械学会関東支部 関東学生会

E-mail: [kt-staff<at>jsme.or.jp](mailto:kt-staff@jsme.or.jp)（<at>は@に読みかえて下さい）

ジェスメディア 第 124 号（2022 年 2 月号）

発 行 : 日本機械学会 関東支部 関東学生会

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 4 番 1 号
KDX 飯田橋スクエア 2 階 一般社団法人日本機械学会内
電話(03)4335-7620 FAX(03)4335-7618

編 集 : 関東学生会 千葉ブロック

千葉工業大学：飯田和虎